

母乳育児支援委員会主催の勉強会～地域公開編～ 『母乳と薬剤について』が開催されました

春の訪れが待ち遠しいこの頃、皆様いかがお過ごしでしょうか？

1月8日（火）に「母乳と薬剤」をテーマとした母乳育児支援主催の市民公開講座が開催されました。妊婦授乳婦薬物療法認定薬剤師である畠山薬剤師を講師に迎え、院外の調剤薬局の薬剤師、院内外の助産師、看護師らが受講しました。妊婦・授乳婦の薬物療法について症例をあげて具体的に説明していただきました。



皆さん！「**妊婦授乳婦薬物療法認定薬剤師**」をご存知ですか？

妊娠・授乳期における薬物療法に関して母体の健康と母乳保育の利点に配慮しつつ、胎児・乳児への作用をしっかりと配慮した薬物療法が行える薬剤師です。多職種と連携しながら母子共に安全で適切な薬物療法を提供することを目的としています。

宮城県内では5名、全国でも150名余りしかいない薬剤師です。薬物の特徴だけでなく、妊婦・授乳婦・小児の薬物動態についても考慮し、妊娠・授乳と薬物治療が両立できるよう母親を支援しています。

当院では妊婦授乳婦薬物療法認定薬剤師とともに、安全かつ適切な薬物療法を提供しています。



勉強会を通して、妊婦・授乳婦の薬物使用に関しては、添付文書だけでなくデータベースなども利用した判断が必要であると分かりました。

近隣の調剤薬局へもお知らせしたことで、院外の沢山の方々に参加していただき、地域への啓発活動の第一歩となりました。

今後も「赤ちゃんにやさしい病院」として地域に広がる支援活動を行っていききたいと思っております。

5 西病棟 広報担当